

個人質問

6月定例会市議会では、二十六人の議員が、議案や市政全般についての質問を行いました。その中からいくつかを取り上げて、要旨を掲載します。

一般・行財政



国体開催期間中の岡山PR策は

岡山PR策は

問 国体は、岡山の観光地や物産品をPRするよい機会だが、選手や観光客等への対応は。

答 岡山駅など

に設置する総合案内所や各競技場の案内所に観光ボランティアを配置するとともに、岡山城や後楽園の観光ボランティアを増員する予定だ。また、大会参加者には県内観光施設の入場割引を盛り込んだ優待パスポートを配布する。さらに、主会場周辺に県内物産品の販売を行うコーナーを設置するなど、



国体に向け活躍を期待～観光ボランティア

積極的に岡山の良さをPRしたい。

国勢調査

個人情報保護に配慮

問 平成17年は国勢調査の年

その内容だ。
戦後六十周年の記念事業

問 戦後六十周年の節目を迎え実施する記念事業のコンセプトは

答 取り組み内容は、山の先人たちが残した復興への努力を振り返り、後世に語り継ぐとともに、あらためて平和やこれからのまちづくりについて

コストリカ共和国へ市長親書を送付

問 平成17年2月にコストリカ共和国大統領等へ送った市長の親書の内容は。

答 中米のオピニオンリーダー的存在である同国の首都サンホセ市と交流を続ける本市に対し、外務省から依頼があり送ったものだ。本市が両市の長い交流を通じ親しみを持っていること、世界の平和的発展を希求していること、わが国が平和を愛する国であること、世界平和への貢献を果たすためわが国の国連安全保障理事会常任理事国入りに理解を求めることなどが、



平和への決意を新たに

デジタル保存により残していきたい。

政策法務の充実に向け弁護士資格保有者を任用へ

問 弁護士資格保有者を政策法務スタッフとして任用するための条例が提案されているが、その目的は。

答 法務業務を、より適切・効果的に遂行するため、公募で任用し、市全体の法務機能の強化を図ろうとするものだ。政令市を目指す上で、権限と責任を備え自立した都市となるため、国と対等な立場を構築する必要がある。また、地方分権の進展とともに、独自の政策立案にも内部に高い法務機能が求められており、今後、政策法務の重要性が一層増すものと考えらる。

県南政令市構想

(岡山市・建部町) 研究会

問 県南政令市構想(岡山市・建部町)研究会の協議状況は。

答 圏域のつながり、合併・政令市移行の効果や課題、同町の特色ある施策等について協議しており、同町は旧御津町を含む本市とつながりが強いこと効率的職員配置により十年間で十七億円余の合理化効果が見込めること、本市はより政令市構想に近づき、また、建部町は救

考える機会としたい。事業への募金活動をはじめ、戦争・戦災体験記の取りまとめ、記録映像の作成、シンポジウムや講演会の開催などを計画中だ。また、一連の記念事業で可能なものは